
じゃんけんぽん

もも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じゃんけんぽん

【Nコード】

N8496Z

【作者名】

もも

【あらすじ】

短編、恋愛、男視点、甘。

最近寒い日が続きますね。そんな短編です。

駅を出ると胸がつまるような外気にむせ、白く鼻先がツンと痛くな
った。

夜空は黒、というより深い蒼色。

散りばめたような星は増して寒さを感じさせる。

仕事帰りには見に染みる寒さで、ポケットに突っ込んだ手の先が悴ん
でいる。

決して冬は嫌いではない。

むしろ夏は暑く、汗かきの俺には疎ましくさえ感じる。だがそれ
にも限度があつて、寒すぎるのもよくない。

寒さは動きを鈍らせ、やる気を喪失させる。付け加えて重ね着が嫌
いな俺にとって、やはり良い季節とは言えないのかもしれない。

…そんなことを言うとアイツに天の邪鬼とか我慢しなさいとか口煩
く言われるんだろう。

ブーブーブー。

指先に携帯のメールを知らせるバイブが響く。

間をおいてからそれを出すと、一気に手の温度が下がり出す。

『おつかれさまです。寒いね』

噂をすれば彼女。

何処かで見ているのか、はたまた予知能力があるのか。

『寒さ通り越してるよ。なにしてる？』

俺の帰宅時間を大体把握していると想定しよう。にしてもタイミン
グが良い。

ブーブーブー。

『なにというよりベランダにいる（笑）』

……。

『いくつだよ。黄昏てないで中入れ』

どうせ星が綺麗だのなんだのと齒をガチガチ言わせながら夜空見上
げてるのだろう。

そういう所は共感できない、というか阿呆ぽい、というか…。

ブーブーブー。

『どうせ馬鹿とか思ってんでしょ。いいよ、わかってますからね…』

『惜しいな、俺が思ってたのは阿呆だ』

ブーブー。

『むっかつく（笑）しかも残念でした。今日は星見るためではありませんーん』

『なんのために？』

そう返信してから何となく、彼女のペースに乗せられている気がして笑えた。
珍しく返信が早いのは、何か意味しているのだろうか。

ブーブー。

『星もそうだけど空が綺麗でしょ。蒼っぽくて、冬って感じ。もう帰宅した？』

…近くにいと感性まで移るのか？

『まだ、もうちょい』

前文には触れないでおく。お前のせいだぞ、付け上がるんじゃあない。そういうことにしておく。

ブーブーブー。

『少しだけ会いたい、ちょっとだけ』

つい足を止めそうになる。

これも珍しい…というより調子外れに近い。文面から彼女の弱々しい肉声が漏れるような気さえた。

時間もなかなか遅い。明日の仕事もあれば今日のうちにこなしたいこともある。

『寒いけど、それでいいなら』

断ろうと思えばいくつも理由を上げられる。…ただ、もう俺もアイツも外にいるせいでこれ以上は冷えないだろう。何があったのかはさっぱりだが、たまの我儘に付き合うことは勤めかもしれない。

ブーブーブー。

『え？…ありがと！（笑）』

『どういう意味？』

ブーブーブー。

『ごめんなさい、意外すぎて（笑）』

『うるさい。で、俺が行こうか？』

と打ち込みながら自宅のすぐそばまで来た。もはや体を撫でる北風の寒さも軽減され始めている。足を止め、返信を待っていると、

ブーブーブー。

『えっと、どうしよう…』

あ、じゃあジャンケンで勝った方が会いに行くことにしましょう（^^）

はい、ジャンケン、

チヨキ
』

「……はあ…？」

マスクの内側で漏れた笑みに、やはり水蒸気が溜まる。
前々から思っていたけど…わからないやつだよ、お前は。

返信を作るべきか、むしろ電話かと悩みながら顔をあげる。

漆黒、なんて表現では勿体無いほどの深い蒼が静まり返った町を包み込む。

満点とまでは言えないが、小さな点が燦然と瞬いていた。

『お前さあ……』

E
n
d

（後書き）

久しぶりの短編です。恋愛モノは肩身が狭い（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8496z/>

じゃんけんぽん

2011年12月26日21時51分発行